

## 第 123 回日本小児精神神経学会の開催中止について

---

かねて準備を進めてまいりました第 123 回日本小児精神神経学会(6 月 27 日～28 日)につき、開催延期の選択肢も含めて慎重に検討を進めてまいりましたが、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、大変苦渋の決断ではございますが、開催を中止とすることと致しました。

榎屋大会長はじめ第 123 回学術集会の開催に関わってこられております方々、学術集会へご参加予定の皆様には大変申し訳なく思っております。事情をご理解いただき、ご理解いただけますようお願いいたします。

なお、本年 11 月 7 日より香川県高松市にて開催予定としております学術集会(第 124 回大会 大会長 牛田美幸)につきましては現時点では予定通り開催に向けて準備を進めてまいります。また、2021 年春の第 125 回学術集会の小石誠二大会長のご配慮によりまして、第 123 回学術集会の大会長榎屋二郎先生には、2021 年春にあらためて第 125 回大会長をお願いする方向で検討中です。どうぞ、今秋以降の学会に皆様のご参加、ご発表を心よりお待ちしております。

令和 2 年 3 月 27 日

一般社団法人 日本小児精神神経学会 理事長 宮本 信也

---

## 第 123 回日本小児精神神経学会の開催中止につきまして

---

第 123 回日本小児精神神経学会の開催中止にあたりまして、これまでの大会準備にてお力添えをいただいた皆様、講演やシンポジウムを引き受けていただいた皆様、事前参加登録や演題登録をしていただいた皆様、関係する全ての方に対して大変申し訳なく思っております。心よりお詫び申し上げます。

事前参加登録や演題登録をしていただいた皆様の事務手続き等につきましては速やかに大会 HP や電子メール等にてご連絡申し上げます。また本大会と共に中止になりました定時代議員総会や理事会につきましても、関係する皆様には電子メール等にてご連絡申し上げます。

今後のこととなりますが、第 125 回大会長の小石誠二先生のご厚情もあり、当職を同大会大会長としてご検討いただくこととなりました。心より感謝するとともに、再度の大役に身が引き締まる思いもしております。今大会のテーマとしておりました「発達障害の二次的・三次的障害を防ぐために～トラウマとの関係を見つめ直す～」につきましては当職の大切にしてきた思いを込めたものですので、第 125 回大会でも同一テーマとして引き継がせていただき、今回、ご快諾いただきながら実現できなかった先生方のご講演やシンポジウム等を是非とも実現させたく思っております。心を込めて準備いたします。皆様のご参加とご発表、心よりお願い申し上げます。

令和 2 年 3 月 27 日

第 123 回日本小児精神神経学会 大会長 榎屋 二郎